

北関東エリア居住者対象 北海道新幹線新函館(仮称)開業に関するアンケート調査結果(速報)

平成21年10月15日

北海道新幹線新函館開業対策推進機構

(1) 調査期間

平成21年9月15日(火)～9月23日(水)

(2) 調査方法

- 上記期間、東武宇都宮百貨店5F・イベントプラザで開催された「第30回秋の北海道物産展」にて配布
- 同会場の回収ボックスにて回収、および返信用封筒での郵送による回答を得た
- 調査票配布とあわせて、新函館開業時の関東地方からの時間短縮効果等を記載したPRチラシを配布

(3) 回答者属性

①人数 2,956人

②属性

性別

	件数	構成比
男性	814	27.5%
女性	2107	71.3%
無回答	35	1.2%

年齢

	件数	構成比
10代	76	2.6%
20代	186	6.3%
30代	378	12.8%
40代	548	18.5%
50代	707	23.9%
60代	680	23.0%
70代以上	321	10.9%
無回答	60	2.0%

【POINT】

調査対象を百貨店での北海道物産展来場者としたことから、回答者属性としては中高年女性の比率が高い結果となり、新幹線利用意向などの回答内容についても、ビジネス利用より旅行利用を主体としたものになっていることが伺えます。

【問1】新幹線の利用経験について教えてください。

n=2956

	件数	構成比
一年以内に乘った	1865	63.1%
一年以上前に乗った	913	30.9%
一度も乗ったことがない	128	4.3%
無回答	50	1.7%

【POINT】

「新幹線に一度も乗ったことがない」人の割合は、以前行った同じ項目の下記調査と比較して圧倒的に少なく、北関東在住者にとって新幹線があたりまえの存在になっていることが伺えます。
札幌圏在住者対象調査 24.6%(2007年9月北海道新幹線建設促進期成会調査)
函館圏在住者対象調査 9.4%(2008年4月北海道新幹線開業はこだて活性化協議会調査)

【問2】これまで北海道を訪れたことがありますか。

n=2956

	件数	構成比
訪れたことはない(0回)	452	15.3%
1回	612	20.7%
2回	563	19.0%
3回以上5回未満	730	24.7%
5回以上	555	18.8%
無回答	44	1.5%

【問3】問2で1回以上北海道を訪れたことがあると答えた方にお聞きします。

北海道を訪れた際、最も多く利用した交通機関は何ですか。

n=2460

	件数	構成比
JR(新幹線・特急等)	645	26.2%
飛行機	1550	63.0%
自家用車・フェリー	179	7.3%
その他	64	2.6%
無回答	22	0.9%

【問4】これまで函館市を訪れたことはありますか。

n=2956

	件数	構成比
訪れたことはない(0回)	892	30.2%
1回	913	30.9%
2回	573	19.4%
3回以上5回未満	373	12.6%
5回以上	151	5.1%
無回答	54	1.8%

【POINT】

調査対象が北海道に興味関心の高い物産展来場者であることから、北海道ないし函館への訪問比率は高めとなっていることが伺えます。北海道全体としては約83%の方が訪問経験がありながら、函館市への訪問経験は約68%であり、その差分からみても函館観光には潜在需要があると考えられ、北海道新幹線新函館開業に向けては函館への訪問意欲を高めるための誘客活動など積極展開する必要があります。

【問5】北海道新幹線が新函館まで開業した際は、函館に行ってみたいと思いますか。

n=2956

	件数	構成比
函館を身近に感じられるようになるので、行ってみたい	2644	89.4%
新幹線が開業したからといって、函館を訪問しようとは思わない	58	2.0%
どちらともいえない・わからない	188	6.4%
無回答	66	2.2%

【POINT】

北海道新幹線新函館開業が函館訪問の動機となりうると回答した方が約90%と非常に高い結果となり、訪問意欲を新函館開業時まで持続してもらうためにも、開業に向けて今後も継続的な観光プロモーションが求められます。

【問6】北海道新幹線新函館開業後、函館・道南地区を訪れる際に最も多く利用すると思われる交通機関は何ですか。

n=2956

	件数	構成比
新幹線(所要時間約3時間半)	2396	81.1%
飛行機(所要時間約4時間・羽田経由)	461	15.6%
その他	46	1.6%
無回答	53	1.8%

【問7】北海道新幹線新函館開業後、札幌・道央地区を訪れる際に最も多く利用すると思われる交通機関は何ですか。

n=2956

	件数	構成比
新幹線・特急(所要時間6時間・新函館乗換)	2023	68.4%
飛行機(所要時間5時間・羽田経由)	811	27.4%
その他	62	2.1%
無回答	60	2.0%

【POINT】

北海道新幹線新函館開業時の札幌または函館までの利用交通手段として、函館を目的地とした場合の新幹線利用意向は高い比率となることは予測されましたが、札幌・道央地区を目的地とした場合の新幹線利用意向も、所要時間が飛行機より長いにもかかわらず約70%と予想以上に高い結果となりました。問3の現状の利用交通手段がJR(新幹線・鉄道)と回答した人が約26%なことから、乗り継ぎ利便や料金などの経済性が優れていれば、札幌・道央地区においても新幹線乗り継ぎ利用客を充分に取り込める市場があるといえます。

【備考等】

調査場所となった宇都宮市がある栃木県は平成21年9月1日現在推計人口が201万人、宇都宮都市圏(10%通勤通学圏)の人口は約100万人となっています。東北新幹線は宇都宮駅に毎時片道4本程度発着していますが、東京から八戸まで所要時間の短い(速達タイプ)新幹線「はやて」は停車しないため、本調査における新函館までの所要時間については仙台乗換を想定したものとしています。

当アンケート調査結果の詳細については、下記お問い合わせください。
本件担当:北海道新幹線新函館開業対策推進機構(函館商工会議所内)
鈴木、永澤 TEL0138-23-1181 FAX27-2111